# 新型インフルエンザ対策担当課長会議資料

# 新型インフルエンザに関する発生状 況及びサーベイランスについて

平成21年9月8日 厚生労働省 新型インフルエンザ対策推進本部

# 感染症発生状況

## 感染症発生動向調査(インフルエンザサーベイランスより)

#### インフルエンザ定点当たり報告数・累積報告数、都道府県別

2009年35週(08月24日~08月30日)

区分			インフルエンザ	
			報告数	定点当たり
	総数		12,007	2.52
沖	縄	県	2,088	36.00
大	分	県	216	3.72
福	畄	県	610	3.08
大	阪	府	866	3.08
東	京	都	856	3.01
	•		•	•
	•		•	•
石	JII	県	55	1.15
群	馬	県	110	1.10
和	歌 山	県	42	0.86
栃	木	県	64	0.84
青	森	県	39	0.60

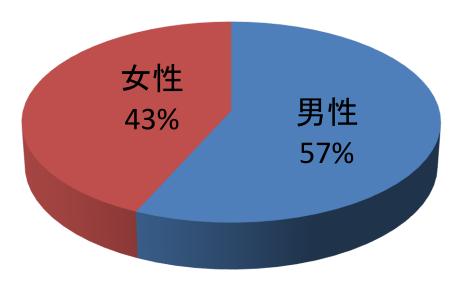
#### 感染症発生動向調査

- 〇医療機関から、保健所を 通して、国立感染症研究所 に報告。
- 〇例年、定点あたり1を超えると「インフルエンザ流行入り」として注意喚起. 今般の新型インフルエンザについても本格的な流行入り。

# 新型インフルエンザ患者

一 男女別内訳 —

(単位:%)



計:4,986人

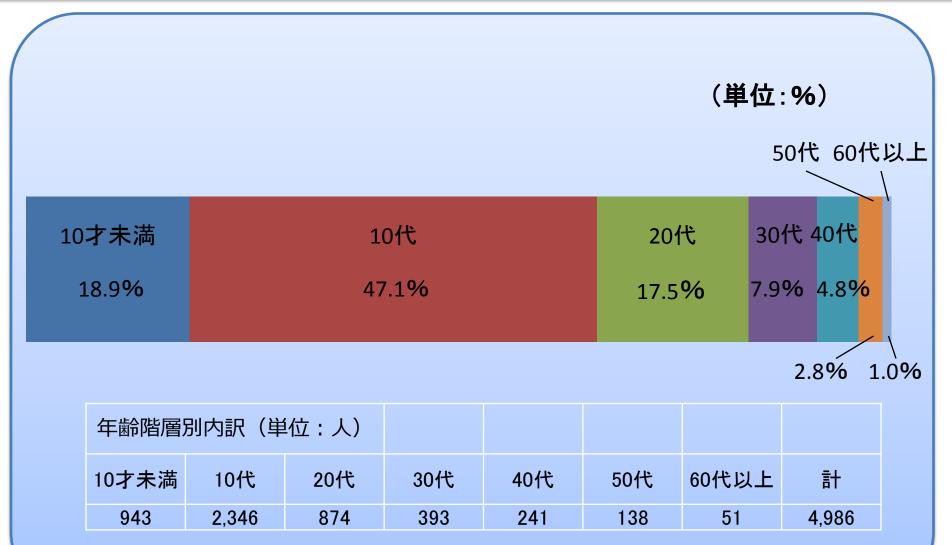
男女別内訳(単位:人)

男性女性計2,8282,1584,986

※ 法第12条の医師の届出(全数把握) 平成21年7月24日6時時点のデータより作成

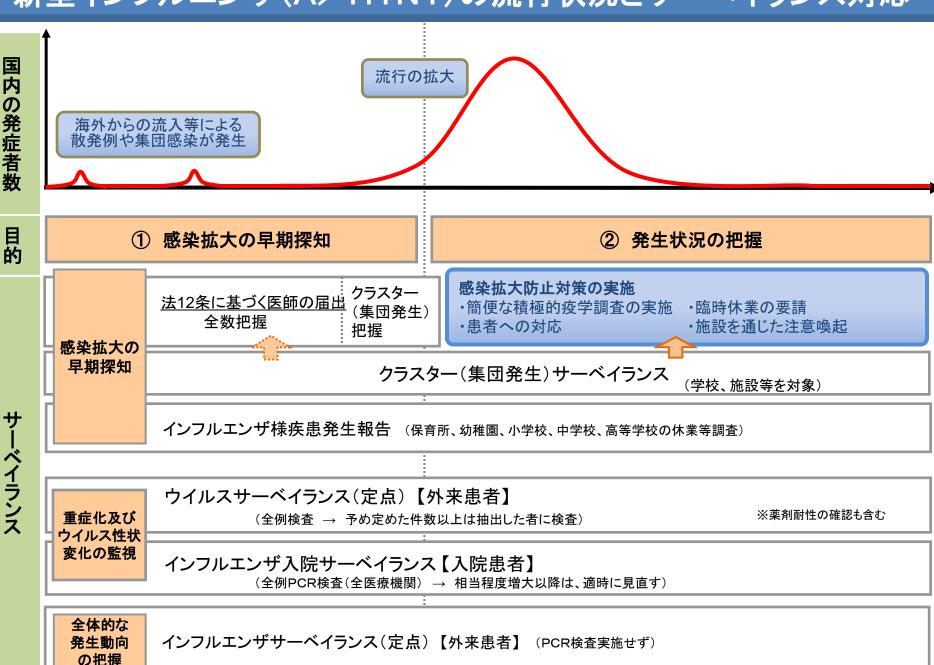
# 新型インフルエンザ患者

#### 一 年齢階級別内訳 —



※ 法第12条の医師の届出(全数把握) 平成21年7月24日6時時点のデータより作成

### 新型インフルエンザ(A/H1N1)の流行状況とサーベイランス対応



# 新型インフルエンザ(A/H1N1)にかかる 現在のサーベイランス体制について

- 1 地域における感染拡大の早期探知のためのサーベイランス
  - (1) クラスターサーベイランス
    - 放置すれば大規模な流行につながる可能性がある集団的な発生を早期に把握
    - ① 医師からの連絡 ② 学校の設置者からの連絡 ③ 社会福祉施設等の施設長からの連絡
  - (2) インフルエンザ様疾患発生報告
    - 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校の休校数等の把握
- 2 重症化及びウイルスの性状変化の監視のためのサーベイランス
  - (1) ウイルスサーベイランス
    - 抗原性、抗インフルエンザウイルス薬の感受性等の調査による病原性の変化の把握
  - (2) インフルエンザ入院サーベイランス
    - 重症者の発生動向の把握
- 3 全体的な発生動向の把握のためのサーベイランス
  - インフルエンザサーベイランス
    - 定点医療機関における患者数からの発生動向の全体把握

#### 1-(1)-1

# クラスターサーベイランス

#### クラスターサーベイランスについて

我が国全体における感染の急激な拡大に伴い、個々の発生に係る早期探知の取組を縮小 【原則】 するとともに、集団発生の傾向を把握するための取組に重点。 これに基づき、各地域において、適切な感染拡大防止対策の徹底を図る。

クラスターの端緒の把握 → 医師に対し幅広に報告を求める。 【構成】

#### クラスターの端緒の把握について

都道府県等の判断で、 PCR検査の実施。



③医師からの連絡



問診により集団発生 かどうかを確認

School

②医師による問診等

①受診

施設からの感染状況等の報 告を受けた保健所は、当該 施設に対し、

ア 臨時休業の要請の検討

イ 有症者に対する外出自 粛の要請

ウ 施設に対する注意喚起 等の対応を講ずる。

4)簡便な積極的疫学調査

インフルエンザ疑いの把握

⑤感染状況等の報告

迅速な感染拡大防止対策

インフルエンザ様症状を呈する者の数や感染状況等